



薄川土地改良区だより

2025. 8. 1

松本市薄川土地改良区から入・里山辺に住む方々への

お願い、お知らせです

【こんなトラブルおきないように】

連日の猛暑が続いていますが、山辺地区にお住いの皆さんお変わりなくお過ごしでしょうか。

山辺地区の水田は、青々と稲が育ち稲穂が出揃いつつあります。稲の成長過程で最も水が必要な時です。お百姓さん達は朝晩水の管理に気を使っています。各水路にはたくさん水が流れています。特に近年は夕立で異常な降り方が多く、水路から水が溢れる事案が起きています。大雨で水路の水が溢れる心配がある場合は、農家の皆さんは水利委員さんを中心に、取水口を閉め、細い水路に雑草などが繁茂しないよう注意しましょう。畦草刈りの際、極力刈草を川に流さぬようお互いに気を付けましょう。非農家の方も川に生活ごみを流さないようにしましょう。もし用水路にごみなどが詰まっていたら、取り除くようお願いいたします。

【米作り…水路作り】



温暖化で、水田の水温が上がり、お米が出来にくくなっています。日本の米作りの歴史は、冷たい水でも米が育つように、寒い夏でも、標高や緯度が高い地域でも米が育つようにという繰り返しでした。しかし近年は暑い夏をどう乗り切るかが米作りの課題のようになって来ています。棚田に冷たい山からの水を引いて栽培する米が美味しく暑い夏でも収穫できるとのことです。

山辺地区のほとんどのお米は、薄川の水で育っています。入・里合わせて下記の、10カ所の取水口から各堰（用水路）を流れ水田に配水されています。

- | | | | |
|----------------|-------|-------|-----|
| ①包石堰・大手橋上の北沢より | ②舟付堰 | ③桐原上堰 | ④南橋 |
| ⑤大堰 | ⑥車屋堰 | ⑦針塚堰 | ⑧林堰 |
| ⑨北小松堰 | ⑩南小松堰 | | |

古い堰では1200年前の大和朝廷の命により、朝鮮半島からの技能集団により設計・施工されたとのこと。